



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、クリエイターのコンテンツ保護と認証を支援する web アプリケーション

Adobe Content Authenticity を発表

・ Adobe Content Authenticity は、クリエイターが自身の作品にコンテンツクレデンシャルを手軽に付与できるシンプルな無料の web アプリです。これによりクリエイターは自身の作品を不正使用から保護し、帰属認証を受けることができます。コンテンツクレデンシャルは、Adobe Photoshop、Adobe Lightroom、Adobe Firefly などの人気な Adobe Creative Cloud アプリですすでにサポートされています。

・ Adobe Firefly は、アドビが許可を得ているコンテンツのみで学習され、ユーザーのコンテンツは一切使われません。また、Adobe Content Authenticity の機能により、クリエイターはコンテンツクレデンシャルを使用して自身の作品が生成 AI モデルのトレーニングに使用されることを望まない旨の意思表示をすることが可能です。

・ クリエイティブコミュニティとの協力により開発されたこのアプリは、アドビの責任あるイノベーションへの取り組みを基盤としており、クリエイターが抱える重要な問題へ対処することを支援します。

※当資料は、2024年10月8日（米国時間）に米国本社から発表された[メディアアラート](#)の抄訳版です。

【2024年10月9日】

アドビ (Nasdaq: ADBE)（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、[コンテンツクレデンシャル](#)によってクリエイターが作品を保護し、認証表示を受けられるようにする新しい

無料 web アプリケーション、「Adobe Content Authenticity」を発売しました。コンテンツクレデンシャルは、デジタルコンテンツの「成分表示ラベル」のようなもので、誰でも自身の作品に付与できる安全なメタデータであり、作成者の情報と、それがどのように作成され編集されたかについての背景情報を提供します。2019年に [Content Authenticity Initiative](#)（コンテンツ認証イニシアチブ）を設立以来、アドビはデジタルコンテンツの透明性を確保するための業界標準として、コンテンツクレデンシャルの普及を推進しており、現在では3,700を超える企業や組織に支持されています。誤情報や AI 生成されたディープフェイクへの懸念が高まる中、コンテンツクレデンシャルは制作者にとって重要なツールとなっており、デジタルコンテンツに関する重要な情報を提供できるようにすることで、消費者が信頼性を見極める手助けをしています。アドビは Adobe Content Authenticity で、コンテンツクレデンシャルの可能性を最大限に引き出し、クリエイターが自身の作品を悪用や虚偽表示から保護し、より信頼性と透明性の高いデジタルエコシステムを構築できるよう支援します。

アドビは、クリエイターが自分自身を表現し、ストーリーを語れるようにするツールを、責任をもって開発し、同時にクリエイターの懸念への対処に取り組みます。アドビがクリエイターを対象に実施した、生成 AI に関する [最新の意識調査](#) では、作品の無断共有や誤った帰属に対する懸念が高まる中、クリエイターの91%が、作品に認証情報を付与できる信頼性の高い方法を求めていることが明らかになりました。さらに、クリエイターの半数以上（56%）が、自身のコンテンツが無断で生成 AI モデルのトレーニングに使用されることを懸念していると回答しています。

アドビのデザインおよび新興製品担当エグゼクティブ バイス プレジデント兼 CSO（最高戦略責任者）であるスコット ベルスキー（Scott Belsky）は、次のように述べています。「アドビは、クリエイターのニーズやメリットを重視した責任あるイノベーションに取り組んでいます。Adobe Content Authenticity は、クリエイターが自身の作品を保護し、認証を受けることを支援する強力な新しい web アプリケーションです。私たちは、クリエイターが作品にコンテンツクレデンシャルを無料かつ手軽に付与できるシンプルな方法を提供することで、作品の真正性を維持できるようにすると同時に、オンラインにおける新たな透明性と信頼の時代を実現することに貢献します。この web アプリケーションは、クリエイターに利益をもたらすだけでなく、消費者がデジタルエコシステムをより明確に把握する上でも役立ちます。」

クリエイターがデジタル作品にコンテンツクレデンシャルを無料かつ手軽に付与できるシンプルな方法

Adobe Content Authenticity は、クリエイターとの密接なコラボレーションのもと、1:1のヒアリングセッション、グループディスカッション、ユーザー体験テストなど、あらゆる段階で彼らのフィードバックを取り入れ、クリエイターによって、クリエイターのために構築された web アプリとなるように開発されました。

コンテンツクレデンシャルはすでに、Adobe Photoshop や Adobe Lightroom、Adobe Firefly などの人気の Adobe Creative Cloud アプリケーションでサポートされています。Adobe Content Authenticity は、これらの Adobe Creative Cloud アプリやその他のアプリと統合され、コンテンツクレデンシャルの設定を管理する一元化されたハブとして機能します。Adobe Content Authenticity の主な利点には、以下のものが含まれます。

- **コンテンツを保護し帰属情報の認証表示を受けるために、手軽にコンテンツクレデンシャルを付与**

クリエイターはこの web アプリでコンテンツクレデンシャルを一括で簡単に付与し、画像、オーディオ、ビデオファイルなどのデジタル作品に署名することができます。さらにクリエイターは、コンテンツクレデンシャルに含まれる情報（氏名、web サイト、SNS アカウントなど）をカスタムでき、アドビはさらに多くのカスタマイズオプションを提供していく予定です。これらの情報を付与することで、クリエイターは帰属情報の認証表示によって、無断使用や誤った情報から作品を保護し、信頼を確保することができます。

- **生成 AI によるコンテンツのトレーニングと使用に関する許諾設定**

アドビは、クリエイティブな生成 AI モデルのファミリーである [Adobe Firefly](#) を [使用許可を得たコンテンツ](#) のみでトレーニングしており、ユーザーのコンテンツでトレーニングすることは一切ありません。しかし、市場に出回っている生成 AI モデルのすべてがこのアプローチに従っているわけではありません。Adobe Content Authenticity の「Generative AI Training and Usage Preference（生成 AI のトレーニングと使用に関する設定）」機能により、クリエイターはコンテンツクレデンシャルを通じ、自身の作品が他の生成 AI モデルに使用され、トレーニングに用いられたくない旨を表明できます。アドビは、この設定が業界全体に採用されるよう積極的に取り組んでおり、これにより、対応する他の生成 AI モデルがクリエイターの作品をトレーニングに使用しないよう目指しています。生成 AI のオプトアウトアグリゲーターである [Spawning](#) は、この設定を順守することをコミットしています。

また、この設定が適用されたコンテンツは、[Adobe Stock](#) への投稿はされません。Adobe Firefly は Adobe Stock のライセンスを受けたコンテンツでトレーニングされており、この設定によって、アドビはコンテンツの使用に関するクリエイターの選択を尊重しています。

・付与されたコンテンツクレデンシャルを簡単に表示および確認

現在、一部の SNS プラットフォームや web サイトでは、投稿されたコンテンツにコンテンツクレデンシャルのような来歴情報がオンラインで表示されず、消費者にとっての透明性が制限されています。コンテンツクレデンシャルの普及に伴い、このギャップを埋めるため、アドビは Google Chrome 用の Content Authenticity 拡張機能と、Adobe Content Authenticity web アプリ内の検証ツールをリリースし、コンテンツに関連付けられたコンテンツクレデンシャルの内容のすべてを復元して表示できるようにします。編集履歴がある場合は、その履歴も含まれます。

・耐久性のあるコンテンツクレデンシャル

Adobe Content Authenticity で付与されたコンテンツクレデンシャルは、コンテンツのライフサイクル全体を通じてクリエイターの作品に安全に関連付けられた状態を維持し、来歴情報が削除されたり、コンテンツのスクリーンショットが撮影された場合でも復元することができます。これを実現するために、コンテンツクレデンシャルは、デジタル指紋、見えない電子透かし、暗号署名付きメタデータを組み合わせ、デジタルエコシステム全体でコンテンツクレデンシャルが損なわれず、検証可能な状態を維持できるようにします。

提供開始時期

Adobe Content Authenticity web アプリの無料パブリックベータ版は、2024年11月～2025年2月末の四半期中に提供開始予定です。Adobe Content Authenticity についての詳細を知りたい場合、またベータ版が利用可能になった際に通知を受け取りたい場合は[こちら](#)から登録できます。Google Chrome 用 Content Authenticity 拡張機能のベータ版は、本日より利用可能です。

また、アドビは、10月14日から16日までマイアミビーチで開催される世界最大のクリエイティブイベント、[Adobe MAX](#) のブース（ブース424）で、Adobe Content Authenticity のプレビューを行います。

■「アドビ」について

アドビはデジタル体験を通じて世界に変革をもたらします。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト（ <https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html> ）をご覧ください。

© 2024 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.